

皆様
主の平和！

五月晴れの空に新緑が映える美しい季節となりました。お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

さて公開ミサなどが中止になってから3ヶ月目となり、もう5月、いわゆる「聖母月」に入りました。新型コロナウイルス危機の影響は想像を超えて大きく、世界の隅々にまで及びまだ続いています。そればかりか今後の回復はどの国、どの社会、どの会社や団体、家庭にとっても大いなる課題となるでしょう。こうして全人類は自らの限界やもろさを強く感じ体験してきました。それにともない自然環境の尊さや他人の健康への責任について私たちが果たすべき使命に関しても新たな知識と意識が与えられたと思います。

メディアではウイルスの感染防止策として「STAY HOME」（ウチで過ごそう）と「SOCIAL DISTANCE」（距離を保とう）という要請が呼びかけられています。カトリック教会、特に東京大司教区も社会の中のひとつの団体として、責任を持ってその呼びかけを受け止めています。しかし私たちの共同体生活はこれに大きな影響を受けていると思います。一人ひとりの信仰、また共同体としての絆を育むために、東京大司教区は毎週日曜日に東京カテドラル聖マリア大聖堂での主日ミサをインターネット（YouTube）映像配信をしています。さらには、5月の聖母月にあたってロザリオの祈りを呼びかけた教皇様の希望に応えて、菊地功大司教は5月13日（ファティマの聖母の祝日）、聖マリア大聖堂で午後7時からロザリオの夕べを行い、インターネットで中継配信して下さることになりました。

ご存知のように、私たち高幡教会は小教区として創立50周年記念を祝うために、ミサと祝賀会を予定していました。しかし感染症拡大のため延期になりました。そのため2019年の復活祭から50周年記念の準備として様々な行事を企画してきた高幡教会の努力が無駄になったように感じる信者の方もいるかもしれません。でも私はそんなことはないと思います。なぜかというと、まずお祝いの企画は中止ではなく延期であること、また私たちがお祝いできる日まで感謝と希望の気持ちを持ち続けながら、変化していく状況にあわせて教会共同体として様々なことを共に考え活動できるだろうからです。

5月16日、創立50周年記念祭と高幡教会の保護聖人（さつきの后聖マリア）の記念日に、非公開の形ですがミサを捧げることになりました。このことをお知らせできるのをとてもうれしく思っています。信者の皆様、是非是非今月16日（土）にどこにいても高幡教会のお御堂へと思いを馳せ、一日中、心をつにしてお祈りを一緒に捧げましょう。最近教皇フランシスコが作ってくださった祈りの言葉を借りて^{※1} 愛である神に決して見捨てられていないことを信じて、マリア様に向かって次のように一緒に祈り求めたいと思います。

聖マリア、
あなたは救いと希望のしるしとして、
いつもわたしたちの歩みを照らしておられます。
（略）あなたはわたしたちに必要なものをご存じです。
わたしたちはあなたがそれを与えてくださると信じています。
ガリラヤのカナでなされたように、^{※2}
この試練の後に喜び祝うときが再び訪れますように。アーメン。

公開ミサが再開され、皆様と再会できる日まで、体も心もご健康で過ごされますように。

※1：教皇フランシスコ、「2020年5月にあたってすべての信者に送る手紙」の「マリアへの祈り I」（2020年4月25日）。

※2：ヨハネ2・1－11節参照。